

佐賀労働局発表
令和8年9月10日

【照会先】

佐賀労働局 労働基準部 健康安全課
課長 北村 雅道
安全専門官 大石 邦貴
電話 0952 (32) 7176 (直通)

令和8年度「安全衛生に係る佐賀労働局長表彰」受賞者決定 ～佐賀県産業安全衛生大会にて表彰式を開催～

佐賀労働局（局長 田之上英治）は、安全衛生に係る取組が優良な下記1の受賞事業場及び受賞者に対し、令和8年度の佐賀労働局長表彰を行います。

表彰式は下記2の佐賀県産業安全衛生大会において実施します。

記

1 受賞事業場及び受賞者

【優良賞】（安全確保対策）	ポラテック九州株式会社 佐賀工場
【奨励賞】（安全確保対策）	三研工業株式会社
【奨励賞】（安全確保対策）	日本建設技術株式会社
【奨励賞】（安全確保対策）	九州住電精密株式会社
【奨励賞】（安全確保対策）	光洋技研佐賀株式会社
【安全衛生推進賞】	奈良崎 英樹
【安全衛生推進賞】	白仁田 憲海

※表彰事由については、別添資料参照。

2 佐賀県産業安全衛生大会

- 日時 令和8年10月2日（金）13時30分開会
- 場所 唐津市文化体育館 2F 文化ホール
（唐津市和多田大土井1番1号）

※ 当日、取材を希望される報道機関の方は、準備の都合等がありますので、令和8年9月30日（水）までに佐賀労働局労働基準部健康安全課（担当大石）あてご連絡ください。

別添資料1 佐賀労働局長表彰受賞事業場における主な取組

別添資料2 令和8年度 佐賀県産業安全衛生大会のご案内

令和 8 年度

佐賀労働局長表彰

佐賀労働局長優良賞

ポラテック九州株式会社 佐賀工場 殿

佐賀労働局長奨励賞

三研工業株式会社 殿

日本建設技術株式会社 殿

九州住電精密株式会社 殿

光洋技研佐賀株式会社 殿

佐賀労働局長安全衛生推進賞

奈良崎 英樹 殿

白仁田 憲海 殿

令和 8 年 10 月 2 日（金）



厚生労働省 佐賀労働局

佐賀労働局長表彰受賞事業場における主な取組

表彰の 種 類	【優良賞】	地域の中で、安全衛生に関する水準が特に良好で他の模範であると認められる事業場又は企業に対する表彰
------------	-------	--

1	ポラテック九州株式会社 佐賀工場		
所在地	唐津市佐志浜町 4525-4	労働者数	63 人
事業の概要	建設資材の購入、加工及び販売		
受賞事由 <特に優れている点（安全確保対策が他の模範と認められる事項）>			
(1) 無災害記録時間又は日数 無災害記録時間 約 2,900 日 (2) リスクアセスメントの実施 労働安全衛生マネジメントシステム（OHSMS）の仕組みを導入しており、システムの維持・向上に取り組んでいる。 規定や実施手順に基づいて、各部署の安全衛生推進者等がリスクアセスメントを行っている。 生産設備の新設等の際、リスクアセスメントを設計段階から行い、リスクの除去・低減措置を講じている。また、使用開始前に改めてリスクアセスメントを行い、残留リスクの確認及び除去・低減措置の実施、作業手順書の改善等の対策を講じている。 職場巡視の際の指摘事項等により危険・有害要因を確認した際は、リスクアセスメントを実施して本質安全化またはリスク低減措置を講じるとともに、作業手順書に反映して関係労働者全員に周知している。 (3) 安全衛生に係る意識高揚のための活動 安全衛生関係行事を労使一体実施し安全衛生意識の高揚に取り組んでいる。 各部署に選任されている安全衛生推進者等による職場巡視により、危険箇所、不安全行動をチェックし、その際確認された不安全行動については、速やかに担当部署の責任者への連絡及び原因調査・改善対策の樹立、労働者への指導・教育等を行い関係者全員の安全衛生能力の向上に取り組んでいる。 安全衛生に関する標語やポスター、災害事例等を掲示し、労働者の安全衛生意識の高揚に努め、労働者の危険予知能力向上のための訓練に取り組んでいる。 ・労働者全員に職長教育を受講させるように計画しており、当該教育において作業手順の定め方やリスクアセスメントの実施方法などを学ばせている。また、外部講師による教育の導入により理解度の向上につなげ、法定の安全管理者以外に専任の安全リーダー制度を設け、チェック体制の強化に努めている。 以上の活動などにより、安全活動の水準は特に良好で他の模範となるものと認められる。			

表彰の 種 類	【奨励賞】	地域の中で、安全衛生に関する水準が良好で改善のための 取組みが他の模範と認められる事業場又は企業に対する表彰
------------	-------	---

1	三研工業株式会社		
所在地	多久市北多久町小侍 688-4	労働者数	50 人
事業の概要	膜構造建築物設計・製作・施工		
受賞事由　＜特に優れている点（安全確保対策が他の模範と認められる事項）＞			
(1)　無災害記録時間又は日数 無災害記録日数　約 3,600 日			
(2)　リスクアセスメントの実施 毎年開催する安全大会における全社員参加のリスクアセスメントでは、各班に分かれ検討したリスク低減措置を発表した後、安全管理者が内容を取りまとめて共有することで、安全意識の向上と安全対策の継続的な見直しを図っている。 労使が一体となってリスクの洗い出しを行うことで、危険箇所及びその低減措置に関する共通認識を醸成し、安全な作業の実施に結び付けている。 リスクアセスメントの結果は作業手順書にも反映され、実機写真の掲載、部品名称の明示等視認性を高める等容易な理解への工夫が施されている。			
(3)　安全衛生に係る意識高揚のための活動 新規採用者に対して、経営トップ自らが安全心得において、工程の遅れに対する健康や人命の優位性を示し、「怪我をしない、病気をしない」ことを最優先とする安全衛生教育を入社時の第一歩として実施している。 全国各支店の全労働者が一堂に会する全社規模の安全大会により、安全方針や課題の共有、安全意識の統一及び安全文化の醸成につなげている。 安全衛生委員会に併せて実施する安全パトロールでは、安全管理者ほかアドバイザーにより、安全教育を行いながらの現場巡視が行われ、パトロール終了後の全社員共有、参加者からの意見は、本質安全化や工学的対策の検討・実施に反映させる等安全衛生確保のための設備投資を惜しまない姿勢として表れている。 安全週間において、「安全教育の日」「パトロールの日」「安全点検の日」など日ごとの実施項目を設定し、計画的な安全活動を展開している。 安全標語を募集し、優秀者へは褒賞を実施している。			
以上の活動などにより、安全活動の水準は良好で他の模範となるものと認められる。			

2	日本建設技術株式会社		
所在地	唐津市北波多徳須恵 1417 番地 1	労働者数	85 人
事業の概要	建設事業（土木、地すべり対策、斜面保護ほか）、コンサルタント、地質調査・試験等建設関連事業		
受賞事由　＜特に優れている点（安全確保対策が他の模範と認められる事項）＞			
(1)　無災害記録時間又は日数 無災害記録時間　2,900 日			
(2)　リスクアセスメントの実施 工法や工事の種類ごとに作業手順書を作成し、各工程ごとに作業に内在する危険・有害要因についてリスクアセスメントを実施している。新たな作業や工法等を行う際にはその都度作業手順書の作成及びリスクアセスメントを実施している。 リスクアセスメントを取り入れた作業手順書をデータベース化しており、現場代理人の経験や個人のリスクアセスメントの習熟度によらない均質化された安全管理が行われている。 リスクアセスメントを取り入れた作業手順書は建設工事現場において下請事業場に対しても周知・教育に活用している。			
(3)　安全衛生に係る意識高揚のための活動 年間安全衛生計画を毎年度作成し、労働災害の防止や労働者や協力業者への安全教育、安全衛生意識の高揚のための活動などに計画的に取り組んでいる。 安全衛生委員会での資料として、審議事項や安全管理者による現場パトロールの結果などをまとめたスライド資料を作成している。当該資料は各工事現場において労働者や下請事業場の教育資料としても活用している。 安全衛生大会を毎年開催し、安全衛生の取組みが特に顕著であった労働者や下請事業場を表彰し、安全衛生意識の高揚を図っている。			
以上の活動などにより、安全活動の水準は良好で他の模範となるものと認められる。			

3	九州住電精密株式会社		
所在地	杵島郡大町町大字福母 2374 番地	労働者数	300 人
事業の概要	C B N（立方晶窒化ホウ素）/ P C D（多結晶焼結ダイヤモンド）/ 超硬合金 を使った切削工具（スミボロン、スミダイヤ、イゲタロイ）の製造		
受賞事由	<特に優れている点（安全確保対策が他の模範と認められる事項）> （１） 無災害記録時間又は日数 無災害日数：約 4,400 日 （２） リスクアセスメントの実施 実施計画に基づく定期的なリスクアセスメントに加え、グループ会社で発生した災害に対し、臨時のリスクアセスメントも実施（26 年度は“自分ごと化“をキーワードとして活動）されている。 その結果、大半の工作機械にインターロック機能を採用するなど、労働者の注意力に依存しない安全対策が優先的に実施されている。 現場のみならずスタッフ部門においても、主として転倒災害および腰痛災害に係るリスクアセスメントを実施しており、段差箇所の強調表示をはじめとして、トイレや靴箱への手すりの設置、イラストを用いた装備すべき保護具表示などの安全管理活動が実施されている。 （３） 安全衛生に係る意識高揚のための活動 毎年 4 月と 8 月に安全大会を実施、グループ会社含めた災害の発生状況や自社での安全活動の実績を振り返り、今後取組みの確認、無災害継続の意識 U P が図られている。 毎週、社長を含む安全委員による「トップ巡視」が実施されており、各種作業の確認と標準化具合を確認。更に改善すべき点があれば指摘するとともに、優れた取組については積極的に他部署への展開がなされている。 また、全従業員（スタッフを含む）が 4 か月に 1 回、自らの業務に関する安全衛生上の改善策を提案する「1 人 1 件安全活動」や、危険を疑似体験できる「危険体感道場」など、労働者の危険感受性の向上を図る取組が実施されている。 以上の活動などにより、安全活動の水準は良好で他の模範となるものと認められる。		

4	光洋技研佐賀株式会社		
所在地	西松浦郡有田町北ノ川内乙 3103-18	労働者数	32 人
事業の概要	産業用ロボットの部品加工		
受賞事由　＜特に優れている点（安全確保対策が他の模範と認められる事項）＞			
(１)　無災害記録時間又は日数 無災害記録日数　約 4,700 日			
(２)　リスクアセスメントの実施 毎月、リスクアセスメントの実施に向けて、事務担当を含む工場内すべての職員からヒヤリハット報告を受け付け、「どの作業」で「どのようにして」、「どうなったか」と詳細に事象を検証し、起こり得る災害の芽を潰している。 改善に当たっては、現場任せにせず、管理者が毎月安全パトロールを実施し、本質安全化、物理的対策等のリスク低減措置を講じている。 また、改善状況を写真に残すことで、安全な状態がどういったものか視覚的に判断できるような取り組みを行っている。			
(３)　安全衛生に係る意識高揚のための活動 年間の安全衛生活動計画を作成し、工場長や次長、課長などの管理者を筆頭に事業場特有の労働災害防止を重点に巡回をしている。労働者からもＫＹＴ活動の一環でヒヤリハット事例を多数報告している状況が認められ、その改善に向けた対策も、労使双方で励行している。 過去の災害事例を安全衛生委員会で紹介し、作業方法の改善について議論し、良策を取り入れている。 管理者からの一方的な案の提示ではなく、労働者も活発に案を提示しており、労使一体となって安全衛生活動に取り組んでいる。 管理者が安全衛生法令の改正に敏感に反応しており、安全衛生活動のテーマに随時取り入れており、そこから議論に発展させる好循環が生まれている。			
以上の活動などにより、安全活動の水準は良好で他の模範となるものと認められる。			

表彰の 種 類	【安全衛生 推進賞】	地域の中で、長年にわたり安全衛生関係の業務に従事し、地域、団体又は関係事業場の安全衛生水準の向上発展に多大な貢献をした個人に対する表彰
------------	---------------	---

1	氏名	奈良崎 英樹	所属	林業・木材製造業労働災害防止協会 佐賀県支部
	職名	事務局長	所在地	佐賀市本庄町本庄 278-4

受賞事由 <特に労働災害防止活動に貢献のあった事項>

被推薦者は、労働災害防止の重要性を深く認識し、平成 16 年度から令和 7 年度までの 21 年間の長きに渡り、林業・木材製造業労働災害防止協会佐賀県支部において、事務局長として、同支部が行う事業運営に尽力し、同団体の向上発展に多大な貢献をしたこと。

また、事務局長という指導的立場にあり、法改正の周知、林業従事者への教育等各安全衛生活動を積極的に推進するなど、佐賀県内の林業・木材製造業における安全衛生水準の向上発展に多大な貢献をしたこと。

2	氏名	白仁田 憲海	所属	公益社団法人建設荷役車両安全技術協会 佐賀県支部
	職名	事務局長	所在地	武雄市武雄町大字武雄 4628-4 山共野間ビル 1 階

受賞事由 <特に労働災害防止活動に貢献のあった事項>

被推薦者は、労働災害防止の重要性を深く認識し、平成 25 年度から令和 7 年度までの 13 年間の長きに渡り、建設荷役車両安全技術協会佐賀県支部において、事務局長として、同支部が行う事業運営に尽力し、同団体の向上発展に多大な貢献をしたこと。

また、事務局長という指導的立場にあり、法改正の周知、特定自主検査の検査者研修、検査能力の維持向上のため強調月間を設け巡回指導を自ら積極的に推進し、特定自主検査の重要性を再認識させる等、佐賀県内の建設荷役機械の安全性の確保及び検査者等における安全衛生水準の向上発展に多大な貢献をしたこと。

佐賀県産業安全衛生大会のご案内

主唱 佐 賀 労 働 局
主催 一般社団法人佐賀県労働基準協会

1 日 時

令和8年10月2日（金）
開会13時30分（開場12時30分）

2 場 所

唐津市文化体育館 2F 文化ホール
（唐津市和多田大土井1番1号）

定員
300名

参加費
無料

3 次 第

- (1) 来賓祝辞
- (2) 表 彰 佐賀労働局長表彰・一般社団法人佐賀県労働基準協会会長表彰
- (3) 事例発表 全従業員で取り組む労働安全（九州丸大食品株式会社 唐津工場）
- (4) 特別講演

特 別 講 演

講 師

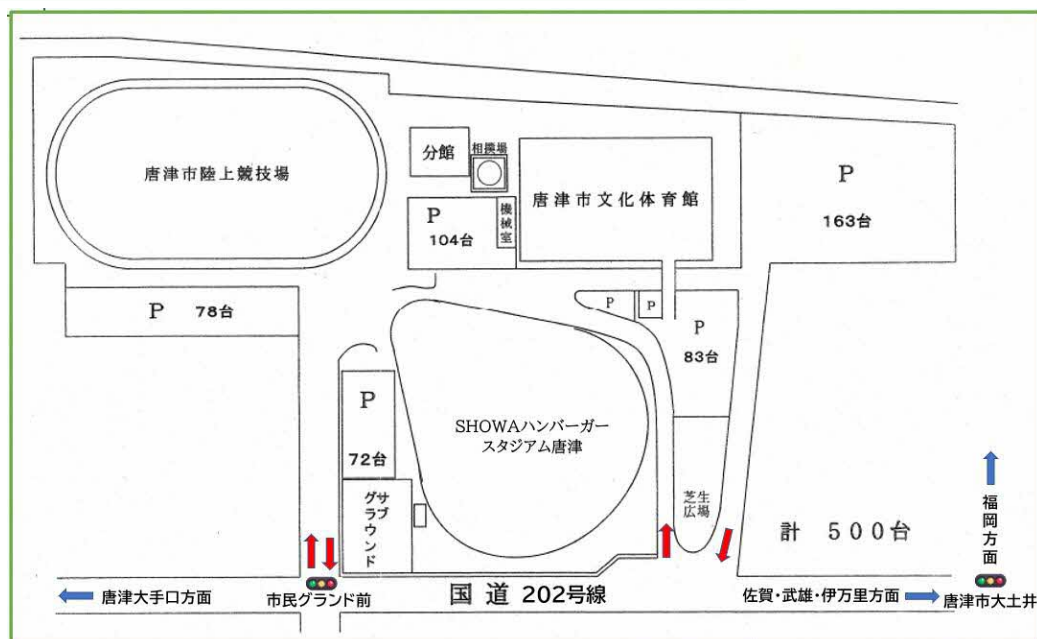
落語家 三遊亭竜楽 師匠

演 題

安全と健康は笑いから

当日、会場にて佐賀県産業医学協会の「健康づくり体験コーナー（無料）」や佐賀産業保健総合支援センター等の他、安全衛生用品関係メーカー等の展示を開設いたしますのでご利用ください。

唐津市文化体育館 駐車場ご案内



唐津市文化体育館
周辺地図

※ 当日は混雑が予想されますので、公共交通機関のご利用もしくは乗合等にてご来場くださいますようお願いいたします

※ お申し込み、お問い合わせは(一社)佐賀県労働基準協会の下記各支部へお願いします
(一社)佐賀県労働基準協会 小城市三日月町堀江 1721（各支部共通）

佐賀支部 TEL 0952-37-8277

唐津支部 TEL 0952-37-8301

武雄支部 TEL 0952-37-8302

伊万里支部 TEL 0952-37-8303

落語家

三遊亭 竜楽



安全と健康は笑いから

■プロフィール■

本名 柳井淳嘉（やないあつよし）

群馬県前橋市生まれ。中央大学法学部卒業後、故五代目三遊亭円楽に入門。1992年真打ちに昇進する。

2008年より海外公演を開始。現在までにヨーロッパ・アメリカ・中国などの約60都市を訪れ口演を行う。日本語に加え、英語・仏語・伊語・独語・西語・ポルトガル語・中国語の8か国語で語る国際派落語家。

2016年には、パリ日本文化会館で落語と浮世絵のコラボレーション「RAKUGO／UKIYOE・伝統と現代の出会い」を開催し好評を博す。グローバルな活動は、WOWOWの看板番組「ノンフィクションW」や世界2億8千万世帯が受信するNHK WORLDの「Direct Talk」で特集された。

2020年「三遊亭竜楽の和菓子チャンネル」でYouTubeを開設。

2024年、前橋市でTOPPANの浮世絵画像との共演企画「北斎漫画で笑おう！」を行い話題を呼んだ。その後、様々な革新的浮世絵コラボを国内外で打ち出している。

「三遊亭竜楽の七カ国語 RAKUGO」（CD・DVD）「三遊亭竜楽の外国語落語 with 浮世絵」（DVD）などを発売。

日本放送作家協会会員、日本脚本家連盟所属